

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	9名
--------------------	------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画	本人や家族からの「どうしたい」を聞き出せるよう関わりを大切に、積極的にコミュニケーションを図る。事前の情報だけではわからないところもあるため、利用開始して1か月後のミーティングの際に、他の職員から意見を聞く。
前回の改善計画に対する取組み結果	積極的にコミュニケーションを図り、本人や家族からのどうしたいを聞き出せる様関わりを大切にできた。利用開始して1ヶ月後のミーティングの際に新たに知り得た情報の共有や支援の検討ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	10	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	8	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初回サービス利用時は関係づくりができるよう、意識し声かけをしている。本人や家族からの情報を大切に、言葉だけでなく表情や態度から思いを汲み取れるようコミュニケーションを図っている。専門用語はできるだけ避け、分かりやすい言葉で説明するよう心掛けている。また、情報やニーズについては、ミーティングや申し送りノートを活用し情報を共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族、介護者の不安を聞いたり等、関係づくりの配慮はできているが表面的な困りごとに視点がいきがちになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
できる限りお話しをじっくり聞き、家族・介護者の不安や問題点が見えたらその場だけの対応で終わらず、どんな援助ができるか模索する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	0 人	10 人

前回の改善計画  
日々のコミュニケーションから、利用者の「～したい」という要望を見つけ、引き出せるような関わりを持つ。3か月に一度のモニタリングの際、暮らしの情報シートの更新を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果  
暮らしの情報シートの更新の際、利用者の「～したい」という要望や趣味、嗜好を把握することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	7	0	10
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	2	0	10
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	3	0	10
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?	1	7	2	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
日々の関わりの中で「～したい」という思いを把握できるよう、日常の会話を大切に関わることができた。関わりの中から得た情報や様子、気づきは経過紙等に記載し、情報共有に努めることができた。個別に小規模プランを作成し、全員で目標を把握して支援できるよう経過紙にはさんでいる。プランに対して実施状況を日々記録しミーティングやモニタリングで評価、見直しができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
日々の中で「～したい」という思いを心掛けながらケアしているが、時として職員主導のケアになってしまっているところがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
職員間で「～したい」のケアの成功、失敗例をミーティングで共有する。職員主導のケアにならないよう、本人を交え一緒に考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

3. 日常生活の支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画  
本人の情報を引き出せるような会話に努め、お互いに向かい合ってお話できる時間を作るよう心掛ける。暮らしの情報シートを使用しやすい項目内容の見直しをする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
日々の中でお互いに向かい合ってお話できる時間を作る事で本人の情報を引き出すことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	6	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
本人の状況に合わせた基礎的な介護はできている。状態変化にすぐに気付けるよう、日々の状態観察に気を配り、家族からの情報も大切にしている。いつもと違うと感じた時はすぐに職員間で共有し、対応を検討できている。体調管理に努め、必要に応じて主治医や訪問看護と連携が図れている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
暮らしの情報シートを使い情報の整理ができたが、本人の以前の暮らしについては把握が不十分だった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
以前の暮らしを把握するために、日常の会話の話題として意識しながら聞き出してみる。また、ご家族や詳しい知人などに協力を頂き把握に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	1 人	0 人	10 人

**前回の改善計画**  
 本人と地域との関係性が希薄な場合でも、緊急時に協力してもらえよう送迎や訪問の際、あいさつや声掛けなど行い関わりを持つようにする。  
 民生委員にも広報紙を配布し、小規模を知ってもらう。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 送迎や訪問の際に家族や近所の方に挨拶や声掛けを積極的に行っていた。民生委員に広報紙、地域活動の案内を配布して関わりを深めている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	2	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	2	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	2	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	8	0	10

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 一日の過ごし方や今までの生活スタイルを出来るだけ変えず、家族との繋がりが切れないよう、通い、訪問の時間や曜日等に配慮しサービス調整できていた。サービスを使ったことで今までの関係が途絶えないよう、家族にも役割をもってもらい一緒に支援を検討できていた。  
 民生委員に広報紙を配り小規模を知ってもらうよう努めた。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 本人と地域との関わりについて把握できていない。今までの関係から距離を置かれている方もおられ、どこまで踏み込んで良いのか判断が難しい。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
 利用者の住む地区の民生委員を把握し、小規模多機能サービスを知ってもらったり、何かあった際に協力を仰げるよう関係性を深める。民生委員から情報を聞くようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	まちなねの活動を通して地域の方とのコミュニケーションを深める。 緊急時や災害時に避難場所として使うことができることを広報紙にて伝えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	まちなねの活動を継続して地域との繋がりが持てた。 避難場所として利用することができることを広報紙にて伝えられていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	5	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	7	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人、家族の状態に合わせて予定以外での通いや訪問の時間変更や追加、緊急の泊まりも柔軟に対応できている。例えば、家族の体調不良時に泊まりを入れたり、本人が通いに行きたくないと言った時は、時間を置き再度迎えに行ったり訪問へ切り替えたりと臨機応変に支援できていた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 特定の民生委員としか関わりが持てていなく、その他の地域資源の把握ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 広報紙にて情報を提供しているのが、なかなか地域に知ってもらう事が難しい現状。引き続き、事業所の取組みを発信していく。また、運営推進会議を活用し、まちなねの取組み等を発信していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

6. 連携・協働

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画

困難事例や一人暮らし高齢者で見守りの必要な方のケースについては、運営推進会議で検討し、地域包括支援センターとの連携を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議でのケース検討は行われなかったが困難ケースについて地域包括センターと連携が図れている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	4	3	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	6	2	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	6	2	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	10	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

まちなね活動の継続により宮内小学校と関わりが持てるようになった。花いっぱい運動の活動から小学生が花の水やりに事業所を訪れてくれている。  
本人の状態に変化があった場合、主治医、訪問看護、福祉用具等の各種機関に報告、相談し連携を取りながら支援することができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域の活動が把握できていないため一部の活動の参加に限られている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

民生委員や包括支援センターから、地域の活動の情報収集を行い可能な限り参加していく。宮内小学校との関わりを継続できるよう具体的な活動を検討していく。  
担当者会議、運営推進会議等にケアマネージャーだけでなく、他職員も参加することで関係機関との連携、地域との関わりについての考えを深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

7. 運営

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	0人	10人

前回の改善計画

毎月、民生委員へまちなねの案内を配布していくことで関わりを持っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

民生委員の方に毎月まちなねの案内を配布できている。また民生委員の紹介で他地区の民生委員にまちなねの案内、配布ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	7	3	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	2	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	4	1	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者、家族、介護者からの意見や苦情があればすぐに上司に報告、相談し職員間で情報共有し対応を検討できた。年に一度、満足度調査を実施し、利用者や家族から率直な意見を聞き、家族や利用者が抱えている思いや意見を把握して質の向上に努めることができていた。また、運営推進委員から出た意見を反映し、改善に取り組むことができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

まちなね以外の地域と協働した取組みが少ない。  
運営推進委員以外の地域の方からの意見、苦情を頂けるような機会や関係作りができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

コミュニティセンターにまちなねポスターを掲示させてもらったり、チラシを置かせてもらい他の地区の方から興味を持って頂けるよう発信を工夫する。  
地域の集會等に参加する等、地域の方との関わりを持てるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	5 人	1 人	10 人

前回の改善計画  
年一回以上外部研修、ブロック内研修に積極的に参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
研修等に参加出来ている職員と参加出来ない職員がいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	3	6	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	0	8	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	6	4	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	3	7	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
研修の案内が届いた時は、誰もが参加できるよう情報提示を行っている。毎年、個々で研修目標を立て実践に向け、毎月あるブロック内研修や職場外の研修に参加している。また、参加した職員の資料や記録にて他職員に伝達研修をし、自己の知識や技術の向上に努めている。  
ヒヤリハットや事故報告書から、再発防止に向けて当事者だけでなく職員間で対策を検討できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
外部研修、ブロック内研修へ可能な限り参加しているが回数が少ない。  
地域連絡会への参加について全員が把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
個別研修計画の目標が達成できるよう、外部研修に 1 人 1 回以上自主的に参加していく。  
運営推進会議においても特定の職員だけでなく、出来る限り他職員も参加していく。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 12 日 ( 16:30 ~ 16:45 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画

満足度調査で上がったアンケート結果について振り返りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

満足度調査のアンケート結果についての振り返りを行い利用者の声を知れ、支援を見直すきっかけになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	4	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	3	7	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	3	2	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	6	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者の安全を優先した上で、自由に行動できるよう施設や柵での囲い込み等の物理的な拘束は行っていない。しかし、日々の業務に追われ職員の余裕がなくなり感情的に関わってしまうことがあった。そういった時は、注意したり、援助を交代し合い冷静に支援できるような関係が保てている。入浴、排泄等プライバシーに配慮し、本人の希望によっては同性介助を行っていた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

プライバシー保護に注意しているが、利用者のいる場で申し送りをしてしまう場面もあった。また、援助者の都合により行動抑制になる様な声掛けをしてしまう時があった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

申し送りする際は場所や周りの人達に配慮して行い個人情報の扱いに注意する。定期的に各研修を行うこと、ミーティング等で支援の言動を振り返る機会を設け、意識の向上に繋げる。